

資料1

第5回船橋市地域災害医療対策会議 医療部会

令和8年7月23日
健康危機対策課

議題

- 1 市災害医療対策本部に関する事
- 2 病院前救護所に関する事
- 3 その他

議題1

市災害医療対策本部に関すること

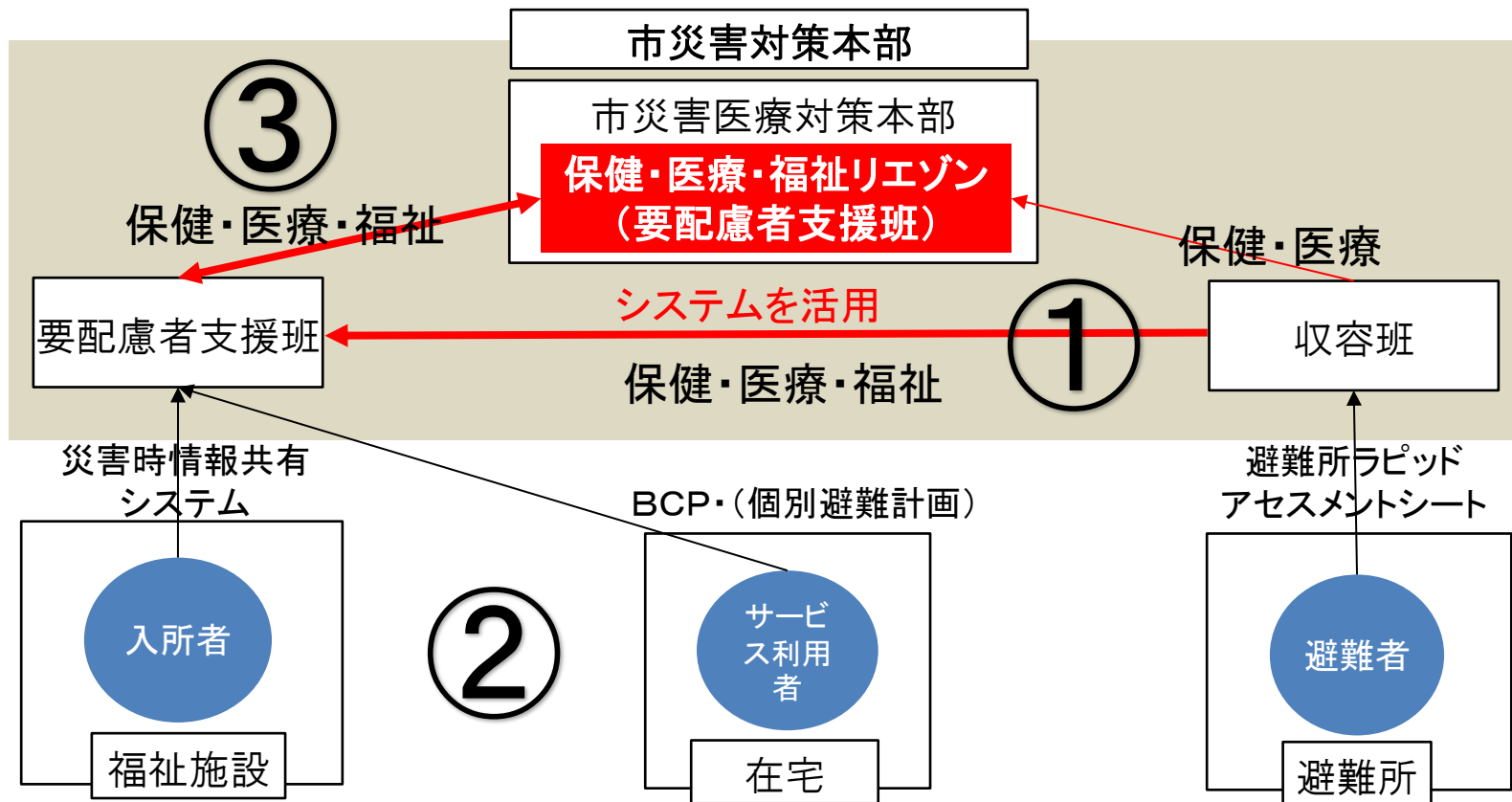
(1) 市災害医療対策本部運営訓練

四師会を含めた訓練(11月)と市職員のための訓練(1月)を実施する。

日程	内容
令和8年11月29日(日)	四師会を含めた訓練 ※総合防災訓練の一環で板倉病院前救護所設置・運営訓練も同時開催
令和9年1月27日(水)	市職員のための訓練 ※市災害対策本部図上訓練の一環で開催

※市の職員による本部訓練を掲載。病院前救護所訓練は別スライドにて紹介

(2) 保健・医療・福祉の連携



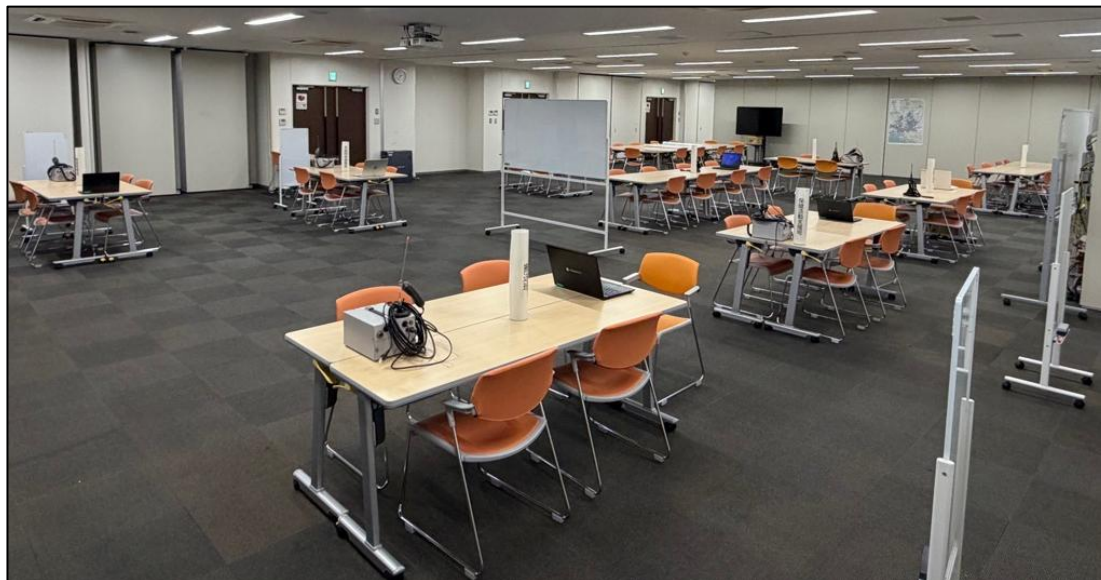
- ① 庁内・宿泊可能避難所との情報連携手段等の整理
- ② 事業所等との連携手段、連携内容の整理
- ③ リエゾン派遣職員等の配置体制・活動内容 の検討

(3) 災害医療対策ハンドブックの更新

○ 更新予定内容

- 執務室移転に伴う、災害医療対策本部設置場所等の記載内容の変更
- 保健所現状報告システムの入力方法について、D24H surveyの入力様式に変更
- 初期参集者対応バグの詳細画像追加
- 蓄電池配置場所の追加

他



(4) 保健福祉センターへの蓄電池の設置

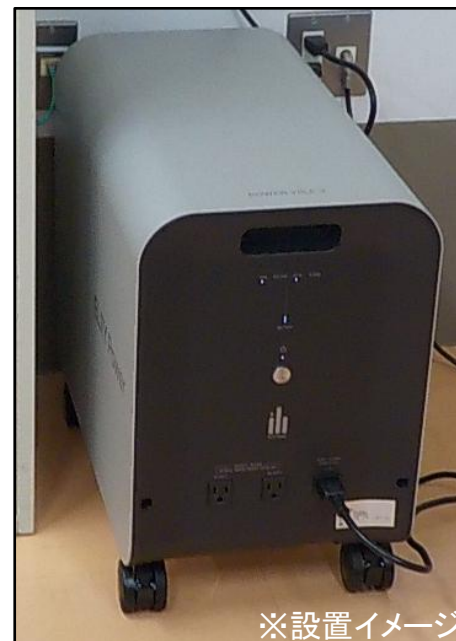
○概要

災害時に保健福祉センター内で外部支援団体が活動できるようにするため、非常用電源のない部屋に5台設置。

- 設置場所: 3階 保健準備室
4階 診療部門

○性能

- PC1台が約40時間、
スターリンクが約14時間
使用可能
- 約4時間で充電可
(常に充電し使用可能状態維持)



議題2

病院前救護所に関すること

(1) 病院前救護所設置・運営訓練

今年度から3巡目の訓練

日程	病院名
令和8年10月24日(土)午後	船橋中央病院
令和8年11月29日(日)午前	板倉病院 ※災害医療対策本部運営訓練と同時開催
令和9年2月20日(土)午後	東船橋病院

(2) 病院前救護所の開設期間について

現在	今後
発災後～おおむね48時間	発災後～おおむね72時間

【他自治体の状況】

	48時間	72時間	その他 (定めなしなど)
東葛南部 医療圏	3自治体 (船橋市含む)	3自治体	
保健所設置市 (政令指定都市、 特別区を除く)	5自治体 (船橋市含む)	13自治体	47自治体
東京都：都作成の「災害時医療救護活動ガイドライン」において、 緊急医療救護所の開設期間を 原則72時間 までとしており、 多くの自治体がこれに準拠			

(3) 病院前救護所の周知

- 民間企業、大学へリーフレット配架
- 町会・自治会へリーフレット配布 new!!
- 広報ふなばし掲載 ➤ X投稿 ➤ 出前講座
- デジタルサイネージ掲載(市本庁舎・船橋駅前歩道橋)
- 危機管理課主催の出前講座にて周知 new!!
- ふなばしCITY NEWS放映
- 病院前救護所参集予定クリニックへ
休診案内ポスターの配布 new!!

(3) 病院前救護所の周知



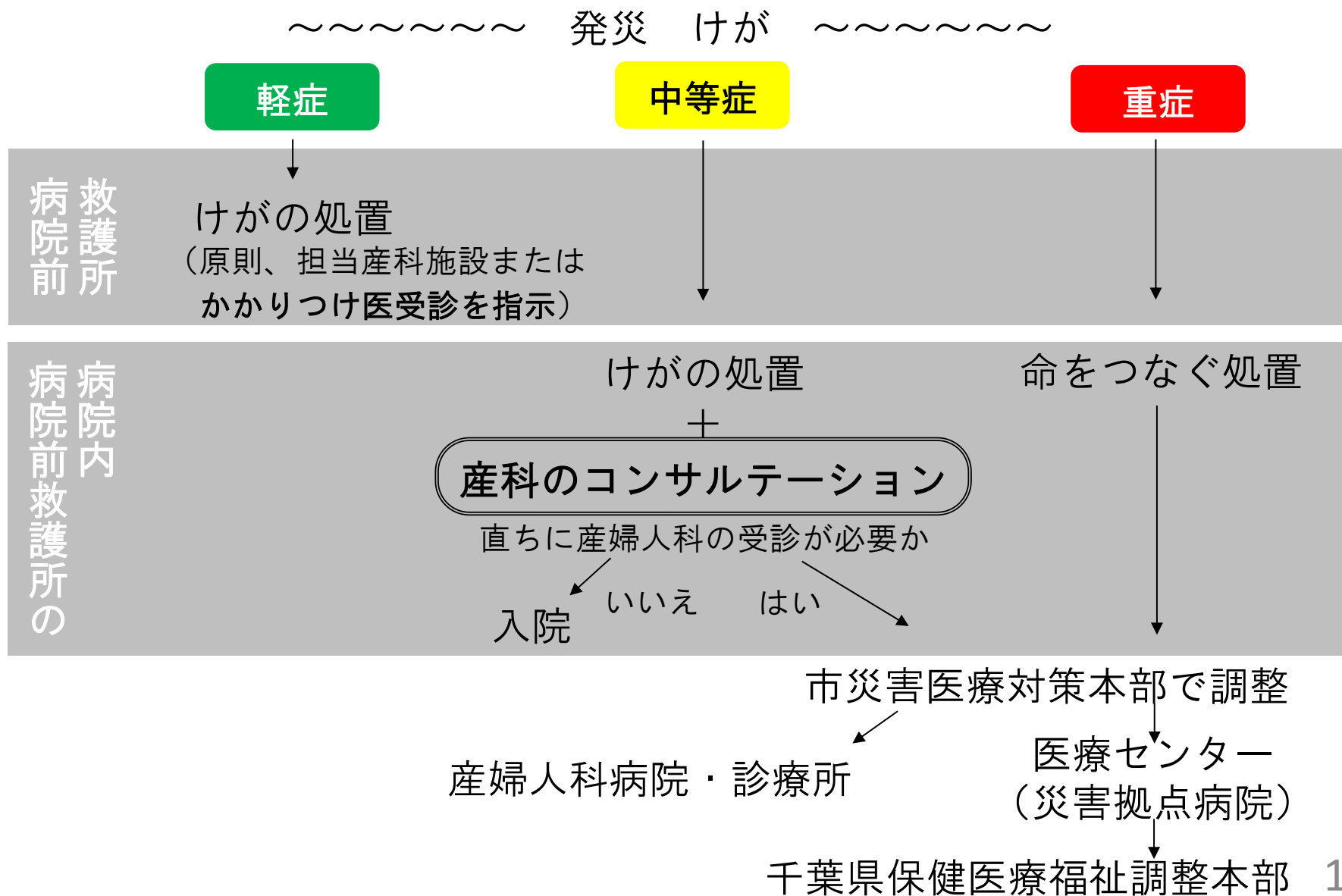
○目的

発災時にクリニック・診療所が休診していることの案内と、受診できる場所への誘導。

○活用場所

病院前救護所
参集予定クリニックの入口

(4) 受入れが困難と予想される者(妊婦)への対応



(4) 受入れが困難と予想される者(妊婦)への対応

産婦人科病院・診療所との連携対応表

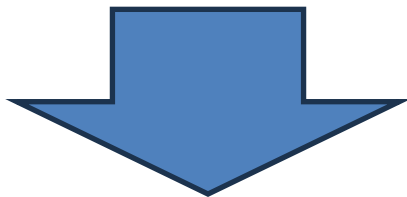
病院前救護所	第1連携	第2連携
船橋中央病院	船橋中央病院	—
板倉病院	山口病院	ファミリー産院ふなばし
船橋総合病院		
青山病院	ファミリー産院ふなばし	山口病院
セコメディック病院	船橋二和病院	—
船橋二和病院		
東船橋病院	愛育レディースクリニック	共立習志野台病院
北習志野花輪病院		
千葉徳洲会病院	共立習志野台病院	くらもちレディースクリニック

議題3

その他

(1) 医薬品の供給体制(復旧期以降)

市内薬局の医薬品の備蓄状況調査を
船橋薬剤師会が実施



調査結果を船橋薬剤師会から説明
※調査結果は資料3参照

(2) 災害時の透析患者への対応

【課題】

災害時に水や電力が不足した場合や病院施設の損壊等により透析が受けられなくなる患者への対応についての検討。

【対応の方向性】

透析医療機関

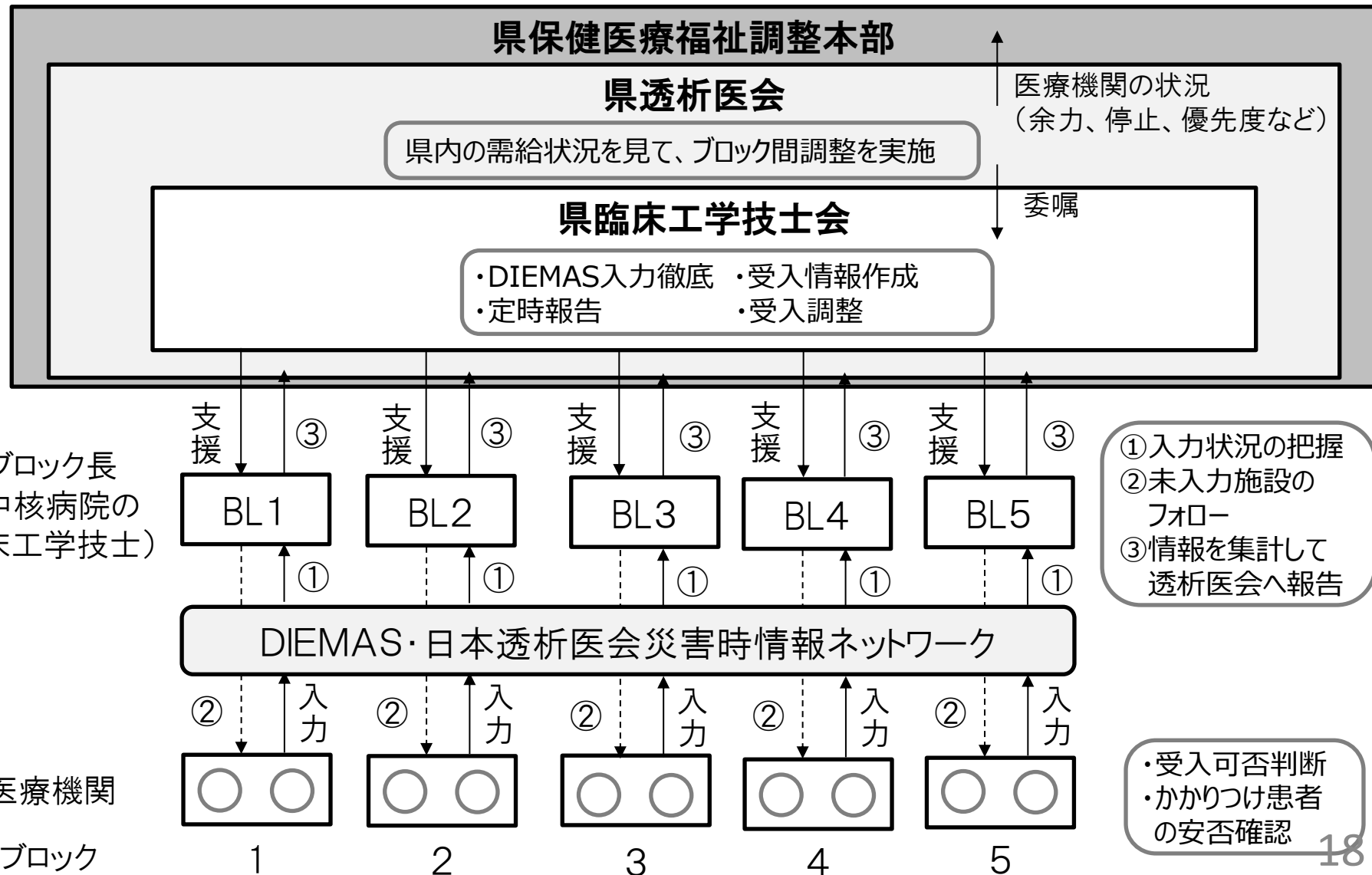
- DIEMAS入力
- 受入可否判断

千葉県透析医会

- DIEMASから県内の需給状況を確認して調整

(2) 災害時の透析患者への対応

県内透析医療機関の災害体制



(2) 災害時の透析患者への対応

○透析カードの一例

防災書き込みシート

ご自身の透析に関する情報をはじめ、自宅や家族、医療施設などの連絡先、避難経路や避難場所など、災害時に必要になる情報を、書き込んでおきましょう。

● 個人情報

・氏名

・生年月日 ・性別

・住所

・TEL

・勤務先(名称・住所・TEL)

● 関係連絡先(家族・友人・医療機関など)

・氏名(施設名)① ・TEL

・氏名(施設名)② ・TEL

● 緊急避難先

・場所(名称)① ・最寄駅

・住所 ・TEL

・場所(名称)② ・最寄駅

・住所 ・TEL

● 透析治療に関する情報 ※記入できる範囲で書き込みましょう。

・血液型	型	Rh	・身長	cm
・目標体重(ドライウェイト)	kg		平 常 時	透析前
			血 圧	透析後
・透析導入日	年	月	日	・原疾患
・合併症			シャント	年 月 日
			作成状況	年 月 日
・肝炎(ウイルスの有無・有る場合はウイルスの種類)				
・透析施設①				
・透析施設②(①の関連施設など)				
・透析曜日			・透析時間	
・透析器(膜面積)			・血流量	
・穿刺部位			・抗凝固剤	
・注射薬の投与	有()	・ 無	・禁忌薬	
・透析中の血圧低下	有	・ 無	・通常時の心胸比	%
・透析中の問題点			・備考	

災害用伝言ダイヤル 171番

災害発生時に被災地への通信が増加し、つながりにくくなった場合に提供される、声の伝言板です。

災害用伝言版 web171

災害発生時にインターネットで被災地の方の安否確認を行う伝言板です。「web171」で検索してください。

日本透析医会 災害時情報ネットワーク <https://www.saigai-touseki.net/>

災害で大きな被害が発生した際に、透析治療に関する情報伝達を行っています。

透析条件やかかりつけ医の情報が記された透析カードを携帯するように透析患者に向けて透析医療機関と協力して周知していく。

(3) 市内全病院の災害時の体制

【課題】

種別	災害時の役割
災害拠点病院 (医療センター)	主に重症者を受入れ
災害医療協力病院 (市内9ヶ所)	病院前救護所を設置し、主に軽症者や 中等症者を受入れ
その他病院 (市内12ヶ所)	整理が必要

(3) 市内全病院の災害時の体制

【整理①】(概ね調整済)

種別	病院名	診療科目	災害時の役割	
			救助救命期 (72時間以内)	復旧期 (72時間以降)
産科	山口病院	産・婦人	- 産科診療継続 - 災害医療協力病院との連携	- 産科診療継続 - 外部からの受入
	共立習志野台病院	産・婦人・内小児・乳腺		
透析	大島記念嬉泉病院	内・循環器内・腎臓内(人工透析)・消化器内・リハビリ・放射線	人工透析継続	- 人工透析継続 - 外部からの受入
整形外科	船橋整形外科病院	整形外科・リハビリ 麻酔	災害医療準協力病院として病院前救護所設置予定	外来診療再開

(3) 市内全病院の災害時の体制

【整理②】(イメージ)

種別	病院名	診療科目	災害時の役割	
			救助救命期 (72時間以内)	復旧期 (72時間以降)
精神	総武病院	精神・神経	精神科診療継続	・精神科診療継続 ・避難所巡回 (心のケア)
	千葉病院	精神・心療内・ 歯・神経内		
	船橋北病院	精神・心療内		
リハ	船橋市立リハ 病院	リハビリテー ション	—	・リハビリ継続 ・避難所巡回 (身体のケア)
	薬園台リハ 病院	ペインクリニック 内・整形外		

(3) 市内全病院の災害時の体制

【整理③】(イメージ)

種別	病院名	診療科目	災害時の役割	
			救助救命期 (72時間以内)	復旧期 (72時間以降)
内・他	いけだ病院	内・消化器内 老年内・外 循環器内・リハビリ・ 肛門外	救護所運営 (病院マニュアル通り)	外来診療再開
	高根台病院	内・糖尿病代謝 循環器内・皮膚	一部縮小して診療を継続しながら近隣災害協力病院の支援（病床の提供、搬送の支援等）	外来診療再開
	滝不動病院	内・外・整形外科 消化器外・消化器 内・放射線・脳神経 外・肛門外・循環器 内・皮膚・泌尿器		

(4) 復旧期以降の医療提供体制

【課題】

病院前救護所が閉鎖された後、地域医療が未復旧の地域における医療提供体制

➤他自治体では、避難所巡回診療や学校等の公共施設に拠点（医療救護所）を設置し、診療を行う体制がとられている

(4) 復旧期以降の医療提供体制

① JMAT(日本医師会災害医療チーム)の受入れ

○ JMATとは

- 日本医師会が派遣する災害医療チーム。医師1名、看護師2名、事務職員1名の4名を基本に構成され、DMATが撤退する急性期以降に活動し、地域医療の下支え・復旧を担う。

○ 主な活動内容

- 医療支援と健康管理
- 公衆衛生支援
- 被災地医師会・行政の支援
- 地域医療の再生・復興支援

(4) 復旧期以降の医療提供体制

② DMATとの比較

	DMAT(災害派遣医療チーム)	JMAT(日本医師会災害医療チーム)
主体	厚生労働省 (国・都道府県が養成・登録)	日本医師会 (都道府県医師会等を通じて派遣)
活動時期	発災直後の超急性期	急性期以降～慢性期(DMAT撤退後)
主な役割	トリアージ、救命救急、広域医療搬送	避難所・救護所での医療、慢性疾患対応、 公衆衛生、地域医療の再生・復興支援
フェーズ	「救命」(命を助ける)	「下支え・復旧」(地域医療を元に戻す)
活動期間	数日程度(短期・迅速な初動)	3日～1週間(交代しながら中長期支援)
派遣性質	迅速な初動対応	プル型(被災地の要請に応じて派遣)

(5) 復旧期以降の保健活動体制

【課題】

避難生活の長期化等に伴い発生する、医療・保健・福祉の複合するニーズに対応するための保健活動体制について、業務の全体像と行動の手順を示したマニュアルを作成する。

【内容】

- 保健活動の目的や体制、要配慮者への支援や応援派遣
保健師等の受入れについて
- フェーズごとのアクションカード 等

(5) 復旧期以降の保健活動体制

DHEAT(災害時健康危機管理支援チーム)の受入れ

○ DHEATとは

全国の保健所等の公衆衛生医師、歯科医師、保健師、薬剤師、獣医師、管理栄養士、臨床検査技師等の公衆衛生分野専門職及び業務調整員5名程度で構成されたチームが複数派遣される。

○ 役割

保健医療福祉調整本部および保健所における指揮調整機能の支援